

中野市の市名・通称名を考える 若者意見交換会結果の詳細

実施概要

調査目的	経済波及効果などの客観的な資料により、市の知名度向上に市名変更について若者がどう思っているのかを把握する
調査手法	フォーカスグループインタビュー
実施日時	2020年1月31日（金） 13:30～15:30
参加者要件	中野市在住の30代男女（登録公募委員候補者から選出）
参加者数	5名（男性2名・女性3名）
実施場所	中野市役所会議室43
実施機関	立正大学文学部 浅岡研究室、株式会社アイディエーション

インタビュー結果

中野市について

中野市居住継続意向

今までの居住状況に関わらず、参加者全員が今後も中野市に住み続けようと考えている。

今後の
居留意向

今後も住み続ける予定

中野市
居住状況



長野県中野市

中野市から
出ていない

- ずっと中野市に住んでいる。



長野県中野市

Uターン

- 学生時代に家を離れたが、基本的には中野市で育ち、今の住まいも中野市。
- 学業で中野を離れたが、結婚を機に戻ってきた。
- 大学の4年間と社会人の7年くらいは県外だが、それ以外は中野市。



長野県中野市

周辺市から
中野市へ転入

- 出身は須坂市で、夫が中野市出身。塩尻市に住んでいたが、子どもが生まれるのを機に中野市に戻ってきた。

中野市に関する話題

県内在住者だけでなく、県外の親せきや仕事相手と話す機会がある。

しかし、観光名所や特産品については中野市内だけでなく、県単位まで範囲を広げないと、紹介できずに困っているという声があがった。

中野市について話す相手	話題
配偶者（愛知出身）の親せき	中野市の名産やおいしいもの、観光名所などを聞かれるが、農産物や中山晋平記念館くらいしかないので、長野の観光名所など範囲を広げて話している。
県外の仕事相手	東京の中野区と間違っ覚えていてる人が何人もいて、「中野市に住んでいます」と言うと「あ、じゃあ、東京なんだね」「いや、長野県です」となり、「長野に中野ってあるの？」という話になることもある。
周辺市の仕事相手	中野市の特産品はえのきだが、飯山市の人に言わせれば、飯山の方が先に始めたという。ただ、そこまで言うことができる名産品でもないかなという気がする。
子ども	ニュースとかで「東京中野区」と流れると、子どもが「あ、中野のことじゃん」と言う。「違う。東京の方だよ」と訂正したことがある。子供も迷っているみたい。

中野市への愛着[1~10点]

中野市居住歴には関わらず、全員、中野市への愛着は感じており、その大きな理由は、「暮らしやすい」こと。しかし、アピールポイントがない点は不満に感じている。

※高校生インタビューでも、同様の発言があがっていた。



今後の期待も込めて10点

今住んでいるところということもあるし、長く住んでいるので愛着を感じる。アピールするところはこれから作っていけばいいのかと思っているので、今後の期待も込めて10点。

住み続けたいし、良くしていきたい

30年以上の在住歴があり、大学を卒業した後も戻って来ようと思ったり、職場は隣の市だが、中野市に住もうと思ったりという愛着は感じている。例えば子育てがしやすいとか、子供が大学なり県外に勉強に行っても帰ってきたいと思えるような市にはしていきたいし、して欲しい。

暮らしやすいが、アピールポイントがない

ずっと住んでいるということで、思い出がたくさんある。職場や子育てを考えると、以前住んでいた千葉と比べて、人との関係性がすごく良くて、8点をつけた。マイナスの要素は、観光とか「中野市ならこれ」と自分の中で思い浮かべられるものがないので、アピールポイントの問題。

子育てしやすいが、アピールポイントがない

子育て。他のところで子育てをしたことはないが、支援センターとか市の相談窓口のところなどを考えると、とても子育てしやすい市なのではないかと思う。他から来た方や、出て行った方から「中野市は恵まれていたよ」ということをよく聞く。中野市居住歴は浅いが、周辺市の出身なので、親近感がある。ただ、何か「これ」というものがない。

大きな不満はない

生まれ育ったところなので、そんなに好きというわけでもなく、ただここにいるという感じ。まあ普通。そんなに大きな不満はない。

中野市をすすめたいと思うか[1~10点]

他者にすすめる上で、中野市独自の要素が想起できないことが理由となり、推奨度は愛着度の点数よりもやや下がる。

※高校生インタビューでも、他の自治体と比較すると『“いちばん”になれるものがなく、薦められるものがない』とのコメントがあがっていた。



他に無いものがある

農業的には、中野市には実はいろいろあって、作っているものは本当に豊富。あとは、「何もない」ということが、今はアピールにもなるのかなと思う。テレビでも言っているが、ありすぎる場所からすると何もないことも良く映るし、雪もある。住んでみて良くないと思う部分もあると思うが、他にないものが実は中野にあるのではないかなと思っている。

周辺市と変わらない

気候的にも、年間通じてわりと住みやすいところだと思う。でも、中野市でなければならぬ理由が特に見当たらない。別に、小布施でも須坂でも似たようなところなのではないか。

不満がないだけ

まあ、住みやすいよという感じだが、満点にはならない。私はただ、生まれ育った街に住んでいるという感じ。

すすめるポイントがない

茨城に住んでいる友達が、シャインマスカットがすごく好きで食べに来たいと言って中野に来てくれた時、「中野で何かおすすめがある？」という話になった時に出てこなかった。そういう時は「他の市のそこが良かったよ」と出てきてしまうというのが本音。やはり「これだよ」と言うものがない。

長く住まないと分からない

長く住めば良さが分かるが、急に来たときに果たして受け入れてもらえるかなと思った。なぜなら、愛知出身の配偶者が中野市に来た時に「こんな田舎なのか」と言っていた。自分は住みやすいと思っていたが、他県の人からはそういう意見もある。

中野市の魅力ポイント

中野市の魅力ポイントとしてあがったことは、「子育てしやすいこと」「久石譲・中山晋平の出身地」のみで、農産物や名所については言及されなかった。

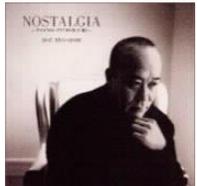
魅力度アップのためには、「独自の農産物」に加え、中央通りの活気UPや「子連れで楽しめるスペースが増えること」という意見があがった。

自慢
できること

子育てしやすい



久石譲の出身地



中山晋平の出身地



魅力度
アップの
ために

中央通りの活気UP

もう少しお店があれば良いと思う。
たまにお肉屋さんには行くが、
もっとあの辺が賑わえばいいなと思
う。



子連れで楽しめるスペース

子育てはしやすいが、子連れで行け
るところは結構限られて支援センター
に行くしかない。友達に「中野で遊ぼ
うよ」と言えるようになると良い。



中野市“だけ”の
農産物アピール

農産物はいろいろあると思うが、やは
り「中野市だけ」という部分は弱いと
思うので、もっと上手にアピールして
知名度を上げていく。



それぞれの地名にどの程度愛着を感じているか[1~10点]

4つの地名についての愛着度は、「長野県」「中野市」については、4つの中で最も高い愛着を感じており、「信州中野」の愛着度は最も低い。

日常的に駅や高速道路を使用していないため、「信州中野」は耳なじみがない様子。

		ポジティブなコメント	ポジティブ・ネガティブ無し	ネガティブなコメント
長野県	7.8ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 「長野県は良いところだよ」と言われることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 信州も長野も変わらない印象。 	
信州	7.0ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 他県の人から信州の良さみたいなものを聞くと、「信州」が良いワードとして感じる。 「長野県出身です」と言うと「信州だね」というやりとりもあるので、自分の中でも聞き慣れているし、特別感がある 		<ul style="list-style-type: none"> 「信州」という言葉は「長野県」に比べれば口から出てくるのが少ない。
中野市	7.8ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 自分もずっと「中野市」で育っているので、やはり愛着があって「中野市」は「中野市」という感じがする。 		
信州中野	6.0ポイント			<ul style="list-style-type: none"> 「信州中野」は、確かに言われてみれば駅とか使っているところはあるが、自分ではそこまで使わない。 電車も高速道路も使わないので、あまり聞かない。 中野市なのに、どうして「中野駅」じゃないんだろうとずっと思っていた。

(インタビュー参加者の平均点)

市名変更について

インタビューの流れ 各種資料を順番に呈示した。

説明を聞いて
感じたことを聴取

説明を聞いて
感じたことを聴取

説明を聞いて
感じたことを聴取

市名変更について
感じることを
聴取

市名変更をめぐる経緯の説明

市名を「信州中野市」へ
変更する場合の
メリット・デメリットの説明

市名変更をした場合の影響についての説明

市名変更をめぐる意見

中野市の知名度の低さから、市の位置や場所の特定がわずらわしいとの理由で、中野市内の事業者や市内・市外在住者から、市名の変更を望む声が上がっています。

一方、中野市に住んでいる方から、中野市の歴史的、文化的な要素や中野市という地域に愛着を持って暮らしている方がいます。

CONFIDENTIAL

市名を「信州中野市」へ変更する場合のメリット・デメリット

市民の視点

メリット

- 信州は全国で広く通じる（中野市では通じないことも多いが、信州中野市は長野県にある市と伝わる）
- 中野区（東京都）と区別しやすくなる（「中野区」と「中野市」がまざらわいとの声がある）

デメリット

- 中野市に愛着を感じている
- 長い市名は書くのに面倒、負担感がある
- 住所変更などの手続きが必要となり、経費や労力がかかる

CONFIDENTIAL

中野市の市名変更に関するアンケート結果①

中野市の認知状況

- 現状の中野市は、市名そのものの認知度が極めて低い

中野市を認知している	28
中野市が認知されていないことを認知している	15
中野市に存在しない	3

CONFIDENTIAL

中野市の市名変更で期待される効果

- イメージアップというよりも、“信州”を市名につけることで、場所やどこかなど、一定の認知度向上に寄与することが期待できる。
- 信州のもつポジティブイメージから、中野市の好感度向上につながることも十分に想定される。

↓

① 観光客に対する来訪の初期的な動機づけの機会拡大
② 信州中野ブランドで流通している農産物等のブランド名の露出機会の増大と、それによるブランド名の市場促進及び 購買選択肢への参入機会の向上

CONFIDENTIAL

市名を「信州中野市」へ変更する場合のメリット・デメリット

事業者の視点

メリット

- 特産物を信州中野産で今後も積極的に販売することができる（産地表記、駅名、インターチェンジ名、市名の表記が統一され、物産を効果的にPRすることができる）
- 長野県にある市と知られ、興味関心を持ち、訪れる人の増加が見込まれる

デメリット

- 住所変更などの手続きが必要となり、経費や労力がかかる
- 特産物販売ではない事業者は負担に感じる

CONFIDENTIAL

中野市の市名変更に関するアンケート結果②

中野市のイメージ

- 中野市の市名を認知している人でも、約半数が「イメージなし」と回答しており、イメージそのものがない状況。

イメージなし	約半数
良いイメージ	約半数

CONFIDENTIAL

※口頭での情報提供

① 市民の手続き
② 市名変更にかかるコスト

CONFIDENTIAL

市名を「信州中野市」へ変更する場合のメリット・デメリット

行政の視点

メリット

- 地理的にイメージされやすい
- 信州なかのブランドの知名度が向上する可能性がある（信州中野を多くの人に知られるPR効果が期待できる）

デメリット

- 施設案内看板やシステム改修など経費がかかる
- 新市名の定着に時間と労力がかかる

CONFIDENTIAL

中野市の市名変更に関するアンケート結果③

信州のイメージ

- 信州は、比較的正面的なブランドとして評価されている。

アムスラの健全な自然	●
温泉	●
田舎・地方	●
お祭り・お祭り	●
冬のふゆ・雪・スキー・スキー	●
冬場・スキー・スキーの楽しさ	●

CONFIDENTIAL

市名変更に伴う経済波及効果の推計

中野市の市名変更後における経済波及効果
（中野市に由来する経済波及効果と日常生活での地域ブランド購入による経済波及効果の合計額）

経済波及効果は、新たに需要が発生した際に、その需要を満たすために次々と新たな需要が発生していくという、例えば、加工品が需要が増える場合は、原料、輸送、包装材などの需要も発生される。

※経済波及効果が起こるまでの所要時間は明確ではない

	総数	農業	食料品	小売業	対個人サービス
来訪経路効果	8億1700万円	7億5800万円	600万円	1300万円	4100万円
地域産品効果	9億5500万円	5億8600万円	4100万円	4400万円	2億8400万円
合計	17億7200万円	13億4400万円	4700万円	5700万円	3億2500万円

CONFIDENTIAL

【資料呈示前】「中野市」の市名変更について、どう感じるか
現在、市名変更について議論されていることについては、全員が知らなかった。
市名について、積極的に「変えた方がいい」との発言はなく、「変えてもいい」という発言が目立つ。

どちらでもいい

➤ 変えても変えなくても良い

- 1つは、変えることによる費用が気になる。費用と、期待される効果の部分がどのくらいなのかということをご慎重に見極めてもらいたい。変えようと思っている人たちは、どうしても効果の方を多く見積もりがち。飯山市で新幹線を誘致しようと飯山市がやっていた時に、1日の利用者数が何百人何千人と見積もったが、そんなに来ない。実際は、今全然目標に届いていないという現状があるので、やはりそこはあまり多めに見積もらずに現実的な見積もりをちゃんとしてほしい。また、先ほども言ったが、手段であると思うので、目的は何なのかということも、しっかりと見極めてもらった上でないと説得力が伴わない。そういうところに説得力を持たせて費用対効果のデータの部分をしっかり示してもらえれば、変えるにしても変えないにしても応援はすると思う。
- 経済効果と費用がちゃんと伴っているかというのは、大事かと思う。
- 「中野市」でずっと頭の中に入っていたので、「信州中野」と変わっても、ずっと「中野市」と言うんだろうなみたいな気持ちはある。自分の中では「中野市」と言うので、市の名前としてはどちらでもいい。

➤ 市名変更は寂しいが、メリットがあるのであれば“あり”

- 変えてほしくないわけではないが、先ほどの愛着の点からいくと、「中野市」というのは愛着があるので少し寂しい感じがする。でも名前を変えたことによってプラスになっていけば、それも有りなのかな。

変えないほうが良い

➤ 市名はそのままでいい

- 名称が変わることによって、こういう効果が出るという確証があれば、それが自分の生活にどう関わるかという点で、変えた方が良かったかなという気持ちになると思う。でも今のところは、そのままがいいのかなと思っている。

資料：「市名変更をめぐる意見」について
市名変更を望む意見については、納得感が無い様子。
資料呈示後に、市名変更に対して前向きな態度は見られない。

市名変更をめぐる意見

中野市の知名度の低さから、
市の位置や場所の特定がわずらわしいとの理由で、
中野市内の事業者や市内・市外在住者から、
市名の変更を望む声が上がっています。

一方、中野市に住んでいる方から、
中野市の歴史的、文化的な要素や中野市という地域に
愛着を持って暮らしている方がいます。

CONFIDENTIAL

➤知名度が低いのは、アピールポイントがないから

- 「中野市」の名称の知名度がないというより、先ほど皆さんの話でもあがったが、アピールポイントがないから知名度が低いのではないかと思う。

➤住んでいない人が市の位置や場所が分からないのは当然

- 市名を検索すれば位置は出てくる。自分も他県の市の位置は分からないので、そんなものなのではないかと思う。
- 市の場所なんて、なじみがない人からすれば、そんなものだろう。

➤「事業者」が自分の身近ではない

- 「事業者」ときくと、何かを経営している方とか作っている会社とか、そういう方たちの意見で市名変更したいという声が強いのかな、住んでいる人にとって変わることの意味があるのかな、と疑問を感じてしまう。
- 私も「事業者」が気になる。周りではそんなことを聞いたことがなかったので、これでは何かお店をやっている方とか農業の方たちの声だけなのかなという印象がある。
- 「中野市内の事業者」は、もっと率直に言った方がむしろ気持ち良い。「自分たちが作っているものを、全国にもっと売り出したいから名前を変えたいんだ」と言ってもらった方が気持ちが良い。

「信州中野市」という市名候補について、どのように感じるか

市名の候補としては受容されており、

『特産品の生産者や業者にとってはメリットになりそう』との肯定的な意見もあがった。

違和感はない

あまり違和感がなかった。駅の名前とかで、ある程度通称のような形で使われていて、何となく無意識に意識していたところがあるため、『何で「信州中野」なのか』とは思わなかった。

メリット・デメリットの両方がある

「信州中野」にすることで、先ほどの商品売るとか作るにあたって、「これでガツと押し出していくんだ」という気合いを生産者さんたちが持って臨めるのであれば、メリットの1つにはなり得るのかなと思う。デメリットは、画数が多くなるということ。

経済発展につながる可能性がある

確かに、面倒くささがある。でも、検索した時に一番真っ先に出てくることはメリットになるし、業者の方たちが確かに、それでドーンと売り出せて、それで中野市の経済を発展させてくれるなら良いが、そんな風になるのかな。

なじみがない

住所も「信州」と書かないで、「中野市」と書いてしまって、「信州」が絶対に抜けてしまうな～という気がする。

“信州”が多すぎる

「須坂病院から信州医療センター」という名前に変わった施設があるが、「信州」とつけるのが好きだなと思った。「信州中野」でまた「信州」ときたので、それに替えて何か変わるのかなと思う。どこにでも「信州」があるので、どうかなと思った。

資料：「信州中野市」へ変更する場合のメリット・デメリット について 全体を通して、メリットが弱い印象を受けている様子が見られた。 デメリットについては、ほとんど言及されなかった。

市民の視点	
市名を「信州中野市」へ変更する場合のメリット・デメリット	
市民の視点	
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 信州は全国で広く通じる (中野市では通じないことも多いが、信州中野市は長野県にある市と伝わる) 中野区(東京都)と区別しやすくなる (「中野区」と「中野市」がまざらわしいとの声がある)
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> 中野市に愛着を感じている 長い市名は書くのに面倒、負担感がある 住所変更などの手続きが必要となり、経費や労力がかかる
CONFIDENTIAL	

事業者の視点	
市名を「信州中野市」へ変更する場合のメリット・デメリット	
事業者の視点	
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 特産物を信州中野産で今後も積極的に販売することができる (産地表記、駅名、インターチェンジ名、市名の表記が統一され、物産を効果的にPRすることができる) 長野県にある市と知られ、興味関心を持ち、訪れる人の増加が見込まれる
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> 住所変更などの手続きが必要となり、経費や労力がかかる 特産物販売ではない事業者は負担に感じる
CONFIDENTIAL	

行政の視点	
市名を「信州中野市」へ変更する場合のメリット・デメリット	
行政の視点	
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 地理的にイメージしやすい 信州なかのブランドの知名度が向上する可能性がある (信州中野を多くの人に知られるPR効果が期待できる)
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> 施設案内看板やシステム改修など経費がかかる 新市名の定着に時間と労力がかかる
CONFIDENTIAL	

➤ メリットが弱い

- デメリットは納得感がある。しかし、メリットの方は、「信州中野」ということで長野県というのがわかるだけで、もう少し踏み込んだメリットが欲しい。「信州中野」というブランドが、実は県外で売れているということであればまだいいが、長野県にあることが『わかるだけかい!』という気がする。他に、何かメリットはないのか。

➤ 具体的な数字がほしい

- メリットの1つめは納得。「訪れる人の増加が見込まれる」と書いてあるが、もっと現実的な、具体的な数字をしっかりと出した方が良いのではないかと思う。

➤ 事業者の負担もある

- 農産物もそうだが、フィルムはだいたい生産者負担なので、市名が変わるとしたら、当然フィルムや段ボールも変えなくてはいけない。そういうのは作っている生産者側も負担だと思う。

➤ メリットを享受できる事業者がイメージできない

- 事業者だけの視点なんだろうと思う。中野に住んでいる事業者って、何だろう。何なのかぱっと思い浮かばない。自分は医療関係なので、事業者じゃないだろうと思う。

➤ 市名変更だけで、本当にメリットが生まれるのか疑問

- メリットの「長野県にある市と知られ、興味関心を持ち」というところで、何かがないと誰も興味関心を持たないような気がする。やはり「これ」というものがないと、結局は「信州中野市」に市の名前を変えただけで終わってしまうのではないかと思う。興味関心を持てる何かがあるのかと思つた。

➤ 市名変更だけで、本当にメリットが生まれるのか疑問

- 「地理的にイメージしやすい」が、ちょっと疑問を感じる。
- 中野市に行く時は、市に目的があって行きたいわけではなく、その市の中にあるどこどこに行きたいというイメージだと思う。例えば映画を観に行くなら、長野のどこのどの映画館に行くので長野市に行くわけではない。だから、市の名前を変えるより、中野市にある何かをすごく魅力アップする方が優先なのではないか。市の名前を変更するより、PRできるものを、これからの若い人たちで作っていったらいいんじゃないかと思う。

資料：市名変更した場合に期待される定性効果 について

全体を通して、偏った視座に立った資料として受け取られている様子が見られる。

アンケート結果

中野市の市名変更に関するアンケート結果①

中野市の認知状況

- 現状の中野市は、市名そのものの認知度が極めて低い

認知状況	割合 (%)
中野市を認知している	36
中野市が長野県にあることを認知している	15
中野市に行ったことがある	3

CONFIDENTIAL

中野市の市名変更に関するアンケート結果②

中野市のイメージ

- 中野市の市名を認知している人でも、約半数が「イメージなし」と回答しており、イメージそのものがない状況。

約5割

特に思い浮かぶものがない

約5割

- 自然や田舎の良さが買える
- おいしい食材が豊富
- ひんご
- きのこ
- ぶどう

CONFIDENTIAL

中野市の市名変更に関するアンケート結果③

信州のイメージ

- 信州は、比較的ポジティブな『ブランド』として評価されている。

- アルプスの雄大な自然
- 温泉
- 田舎・地方
- 食事がおいしい
- 冬のスキーを楽しむところ
- 冬季オリンピックの開催地

CONFIDENTIAL

中野市の市名変更で期待される効果

中野市の市名変更で期待される効果

- イメージアップというよりも、“信州”を市名につけることで、場所やどなたかなど、一定の認知度向上に寄与することが期待できる。
- 信州のもっとポジティブイメージから、中野市の好感度向上につながることも十分に想定される。

- ① 観光客に対する来訪の初期的な動機づけの機会拡大
- ② 信州中野ブランドで流通している農産物等のブランド名の露出機会の増大と、それによるブランド名の市場促進及び 購買選択肢への参入機会の向上

CONFIDENTIAL

- 想定よりも高い知名度
- 『知名度』は、思ったよりあるなと思った。

- 偏った資料に見える
- ちょっと「信州中野」に持っていこうとする雰囲気を感じられる。「比較的ポジティブな『ブランド』として評価されている」ということは、比較的ネガティブな表現もあったはずだが、その情報が出されていない、ちょっと恣意的な操作を感じる。ネガティブなイメージもちゃんと精査した上でどうするかを検討しなければいけないのに、ポジティブなものばかり見せてネガティブの方を出さないのであれば、比較検討というのは難しいのではないかと思う。

- 一部の事業者に偏ったメリットのみ見える
- 「信州中野ブランドで流通している農産物等のブランド名の露出機会の増大」という部分が、これだけを見ると、農協の声が強いのかなと思う。農協は「信州」という言葉も好きだし、ブランドで農産物となると、農協の意見がすぐ入ってきているのかな～と思う。市の名前は市民皆のものだと思うので、自分の意見だけでなく、いろいろな人に聞いてもらった方が良いかなと思う。
- 市名変更だけで、本当にメリットが生まれるのか疑問
- 「信州」とつけても、そんなに変わらないのではないかと思うので、こう言われても疑問が残る。

市名変更の影響 について

「市民の手続き」については、一部の手続きが必要ないとしても、何かしらの手続きやコストが発生することに否定的な意見があがった。

「市名変更にかかるコスト」については、『市名変更が多額の税金を使っていいのか』との意見がほとんど。

市民の手続き

行政機関や銀行では、住所変更の手続きは必要ありません。
クレジットカード等は事業者ごとに確認をしていただく必要があります。

※説明文読み上げ

- 何かしらの手続きがあるのであれば、面倒
 - 行政機関の方で手続きをすれば、クレジットカードや云々とかも一斉に処理が済むのであれば良いと思うが、個別にどれが必要でどれが必要ではないかというところをまず調べて、必要なところに手続きをするというのは面倒くさいと思う。

- 手続きのために個人でコストがかかりそう
 - クレジットと他にもいろいろあるが、例えば書類が送られてきて、切手代がうちの負担になるとか、他にも経費的にうちの負担になるものがあるのではないと思う。
 - 自分は福祉の仕事で、資格の住所変更とか、例えば結婚して姓が変わった時の更新手続きでお金がかかったような気がするので、住所とかの変更手続きでお金がかかるのかなとか気になった。

市名変更にかかるコスト

施設案内看板やシステム改修のコストを試算したところ、『約1億2千万円』程度かかる想定です。

※説明文読み上げ

- 市名変更が多額の税金を使っていいのか分からない
 - ただ名前を変えるだけでもったいない。
 - 違うところに使ってほしいなという気がする。
 - これを回収できるほど、効果があるのかなとちよつと思う。
 - ペイできるのかということが気になるし、他のところに使うというのも慎重に考えなければいけないことなのではないかと思う。

資料：市名変更に伴う経済波及効果の推計 について

資料に対し、懐疑的なコメントがほとんどで、判断材料として受け止められていない様子。また、「自分への影響が分からない」との発言もあがった。

市名変更に伴う経済波及効果の推計

中野市の市名変更後における経済波及効果
 (中野市訪問による経済波及効果と日常生活での地域ブランド購入による経済波及効果の合算値)

経済波及効果とは、新たに需要が発生したときに、その需要を満たすために次々と新たな生産が誘発されていくことをいう。
 例えば、加工品の需要が増加した場合、原料、輸送、包装材などの需要も誘発される。

※経済波及効果が起こるまでの所要時間は明確ではない

	総数	農業	食料品	小売業	対個人サービス
来訪経験者	8億1700万円	7億5800万円	600万円	1300万円	4100万円
来訪未経験者	9億5500万円	5億8600万円	4100万円	4400万円	2億8400万円
合計	17億7200万円	13億4400万円	4700万円	5700万円	3億2500万円

CONFIDENTIAL

➤信じていいのか分からない

- これはちゃんと専門の方がそういう計算していると思うが、鵜呑みにはできない。詳細なもとの資料をみたいわけではなく、「本当に？」と思う。飯山市の新幹線の話で千人単位で見積もって、誘致したり大きな新幹線駅を建てたりということにお金を使ったのに、経済効果があったのは建設関係の人たちだけだったという例を見聞きしているので、「本当に？」と感じる。気持ち的に、飯山市の前例の影響が大きい。単純に名前を変えただけの結果とすれば、効果は大きいとは感じる。
- 数字を見ても、農業関係者の声がかいな～と思う。額もでかい。今までの資料も農業という基盤がずっとあったので、農協の声が大きいように思う。

➤現在と比較して判断したい

- もう少し低いかもしれないが、何億何千万というのは今の中野市もあるということか。元がどれくらいあって、どれくらい増えているのかなと思う。この数字だけだと、どこから出てきたの？と思ってしまう。もともと、どれくらいあるのかという現在の状況を知りたいと思ってしまった。

➤額が大きくて現実味がない

- 「対個人サービス」がすごい大きな金額。中野市で、そんなに泊まる場所があったかなと思う。これくらい効果があるのか。この辺だとルートインしか出てこない。晋平記念館は有料だった気がするので、入場料だとしても、あ～、3億いくんだ～というびっくりの金額だった。
- 泊まるにしても、ちょっと頑張って山ノ内町とか、きっとあっちの温泉の方に行ってしまうだろう。

➤自分への影響が分からない

- 単位が違いすぎて、あまりよくわからない。この効果があっても、じゃあ、その後どうなるの？という感じ。自分は事業者でも何でもなし、果たして子供のためになるのかもわからない。このお金が動いた結果、自分にどう影響するのかわからないという感じ。

【資料呈示後】「中野市」の市名変更について、どう感じるか

資料呈示“前”と比べ、気持ちに変化があった人は1名/5名中。

『どちらでもいい』→『変えない方が良い』と変化した。気持ちが変化した一番の理由としては、市名変更にかかるコスト。

どちらでもいい

➤変えても変えなくても良い

※資料呈示前[変えても変えなくても良い]

- 特に変わらず、どちらでもいいかなと思う。変えるなら変えるで、どうぞという感じ。
- 個人としては、コストとメリットを考えて判断すればいいと思うので、最初と気持ちは変わらない。議論するのは良いことだと思うが、事業者だけでなく一般の人たちの意見なども聞いてもらえたらと思う。
- 気持ちとしては、変えても変えなくてもどちらでもというところだが、やはり手段と目的の話。ただただ経済的に見込めるという目的だと、先ほどの資料ではちょっと懐疑的に見る人がいるだろう。経済的なものだけでなく、地名を変えるという手段を使うことで、どういう風な中野市になってほしいのかという全体的なビジョンを、もう少し知りたいなと思っている。もう少し議論を深めてほしいと思う。またこういう場を設けて、声を届けるのも議論の深め方の1つの方法でもあると思うので、有意義だと思う。

変えないほうが良い

➤市名はそのままがいい

※資料呈示前[市名はそのままがいい]

- 気持ちは変わらない。そのままがいいかなという感じ。

➤市名変更のデメリットが大きい

※資料呈示前[市名変更は寂しいが、メリットがあるのであれば“あり”]

- これだけを見ると何かデメリットの方が大きい感じがしてしまう。どこまで知名度が広がるかわからない。それを知ったところで中野市に来てくれるのか、ちょっと想像ができない。そうすると1億くらいという結構なお金をかけてまで名前を変えるのは、ちょっとウ〜ンとなってしまうところがある。色々な資料を見て、聞いて、そうだったら良いなどはすごく思う。市の名前を変えて、盛り上がり来てくれる人が増えるというのが本当に理想的なことだが、実際に市の名前を変えただけではダメなのではないか。やはり「中野市はこれ」というものが必要なのではないかなと思う。そこをちゃんと考えていかないと、名前を変えただけでは、今とそんなに変わらないのではないかなと思ってしまう。そうするとお金のこととかで、デメリットがちょっと大きい気がしてしまう。

市の名称を「中野市」、通称名を「信州中野」にする案について

正式名称とは別に通称名を設定する案については、『市名変更はせずに通称名でいいのでは』という肯定的な意見もあったが、商標上のデメリットについて懸念する声があがった。

通称名を作るほうがいい

➤市名変更ではなく通称名でいい

- 今と変わらないし、それでもいいのかなと思ってしまふ。
- 通称「信州中野」で、なぜ駅の名前と中野が違っているんだろうと思っていた人なので、統一感がなくても日常生活では別に何も困ることはないが、聞かれた時に答えられない住民だ。ただただ住んでいる身としては、「中野市」の方が分かりやすいのかなと思うので、話を聞いていて「中野市」のままでいいんじゃないかなと思った。

通称名を作らないほうがいい

➤商標的に不利益が生じる可能性がある

- 1つの選択肢だと思うが、商標登録とかで使えなくなってしまうと、今まで「信州中野」で売っていたものに全く「信州」とか使えなくなる。そういうことを考えると農業者の声が大きいという話だが、そういう人たちが困ってしまうのではないか。
- 市が持っているのか、その商標を誰が持っているかも結構大事。あと、「なかの」をひらがなにするか漢字にするかということもあるだろう。

➤通称名がよく分からない

- 通称の意味が、よくわからない。今と変わらないということか。

中野市の市名・通称名を考える 若者意見交換会資料

中野市の知名度の低さから、市の位置や場所の特定がわずらわしいとの理由で、中野市内の事業者や市内・市外在住者から、市名の変更を望む声が上がっています。

一方、中野市に住んでいる方から、中野市の歴史的、文化的な要素や中野市という地域に愛着を持って暮らしている方がいます。

市民の視点

メリット

- **信州は全国で広く通じる**
(中野市では通じないことも多いが、
信州中野市は長野県にある市と伝わる)
- **中野区（東京都）と区別しやすくなる**
(「中野区」と「中野市」がまぎらわしいとの声がある)

デメリット

- **中野市に愛着を感じている**
- **長い市名は書くのに面倒、負担感がある**
- **住所変更などの手続きが必要となり、
経費や労力がかかる**

事業者の視点

メリット

- **特産物を信州中野産で今後も積極的に販売することができる**
(産地表記、駅名、インターチェンジ名、市名の表記が統一され、物産を効果的にPRすることができる)
- **長野県にある市と知られ、興味関心を持ち、訪れる人の増加が見込まれる**

デメリット

- **住所変更などの手続きが必要となり、経費や労力がかかる**
- **特産物販売ではない事業者は負担に感じる**

行政の視点

メリット

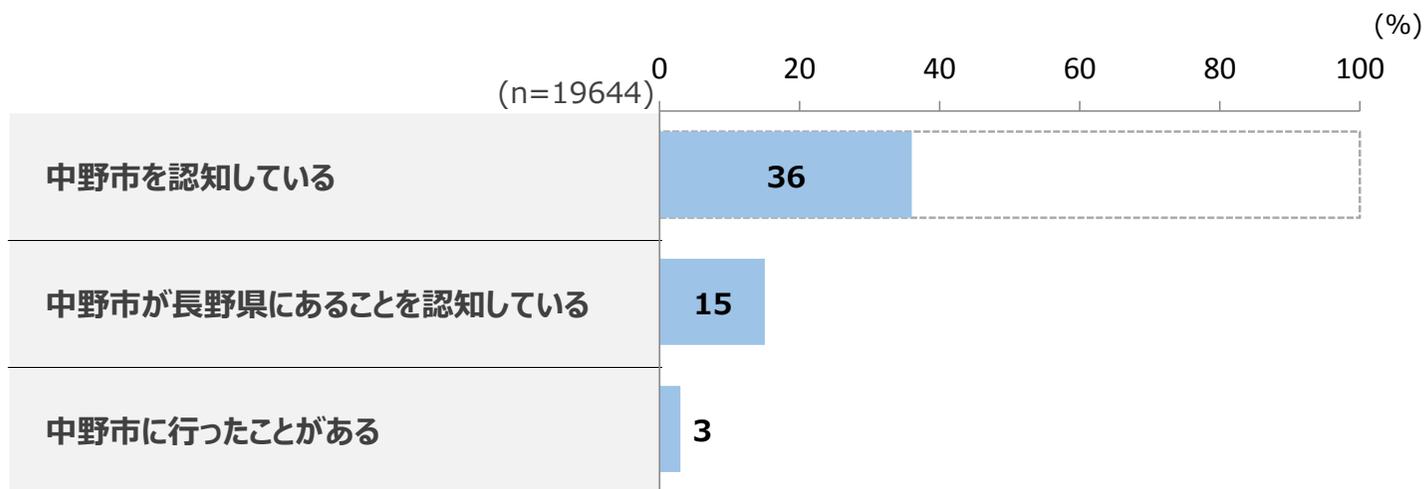
- 地理的にイメージされやすい
- 信州なかのブランドの知名度が向上する可能性がある
(信州中野を多くの人に知られるPR効果が期待できる)

デメリット

- 施設案内看板やシステム改修など経費がかかる
- 新市名の定着に時間と労力がかかる

中野市の認知状況

- 現状の中野市は、市名そのものの認知度が極めて低い



中野市のイメージ

- 中野市の市名を認知している人でも、約半数が「イメージなし」と回答しており、イメージそのものがない状況。

約5割

特に思い浮かぶものがない



約5割

- 自然や田舎の良さが残る
- おいしい食材が豊富
- りんご
- きのこと
- ぶどう



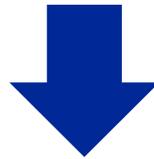
信州のイメージ

- 信州は、比較的ポジティブな『ブランド』として評価されている。

- アルプスの雄大な自然
- 温泉
- 田舎・地方
- 食事がおいしい
- 冬のスポーツを楽しむところ
- 冬季オリンピックの開催地



- イメージアップというよりも、“信州”を市名につけることで、場所やどんなところかなど、一定の認知度向上に寄与することが期待できる。
- 信州のもつポジティブイメージから、中野市の好感度向上につながることも十分に想定される。



- ① **観光客に対する来訪の初期的な動機づけの機会拡大**
- ② **信州中野ブランドで流通している農産物等のブランド名の露出機会の増大と、それによるブランド名の市場促進及び 購買選択肢への参入機会の向上**

市名変更に伴う経済波及効果の推計

中野市の市名変更後における経済波及効果

(中野市訪問による経済波及効果と日常生活での地域ブランド購入による経済波及効果の合算値)

経済波及効果とは、新たに需要が発生したときに、その需要を満たすために次々と新たな生産が誘発されていくことをいう。

例えば、加工品の需要が増加した場合、原料、輸送、包装材などの需要も誘発される。

※経済波及効果が起こるまでの所要時間は明確ではない

	総数	農業	食料品	小売業	対個人サービス
来訪経験者	8億1700万円	7億5800万円	600万円	1300万円	4100万円
来訪未経験者	9億5500万円	5億8600万円	4100万円	4400万円	2億8400万円
合計	17億7200万円	13億4400万円	4700万円	5700万円	3億2500万円